

新函館新聞

HAKODATE SHIMBUN

2024年(令和6年)

11月28日(木)

発行所/函館新聞社



ペットとの面会スペースを紹介する北村看護部長(左)と豊嶋センター長

入院中もペットに会える

高橋病院、面会OK

函館市時任町の高橋病院(高橋肇理事
長、院長)は今年から、入院患者と飼って
いるペットの面会を可能にした。敷地内に
スペースを設置、入院中でも犬や猫と会え
ることで、リハビリをするモチベーション
を高めてもらう狙い。ホスピス(緩和ケ
ア)では取り入れているところは多いが、
リハビリ病院としては道南で初めての取り
組みで、全国でも珍しいという。

(松宮一郎)

同病院は10月に元町から時任町
に新築移転した。建設にあたって
プロジェクトチームを設置。ペッ
トとの面会は、患者の満足度向上
を図るため、チームが議論する中
で出たアイデアのひとつ。

ペットを飼う人を増えたことも
理由で、北村和宏看護部長は「こ
れまで入院患者から『ペットを飼
っているの、早く退院したい』
という声があり、ヒントになっ
た」と話す。

同病院は回復期病院で長期入院

する患者が多い。総合支援センタ
ーの豊嶋亜希センター長は「ペッ
トと面会することを目的にしても
らえばベッドから起き上がる動作
もリハビリにつながるのでは」と
話す。

面会できるのは屋外の3畳×5
畳のスペースで、高さ1.5メートルのフェ
ンスで囲った。中にベンチを設
置し、屋根もあるのでペットとゆっ
くりと過ごすことができる。時間
は1回50分で、1日に3組限定。
予約制にしている。

面会スペースは「1ou1ou
(ルル)」と名づけた。仏語で
「愛おしい子、大切な」という
意味。北村看護部長は「犬や猫
は大切な家族の一員。リハビリ
の意欲を高めてもらうほか、心
の安らぎ、ストレスや孤独感の
軽減などの効果にも期待してい
る。今後、どのような効果があ
ったかも検証したい」としてい
る。

回復のモチベーションに